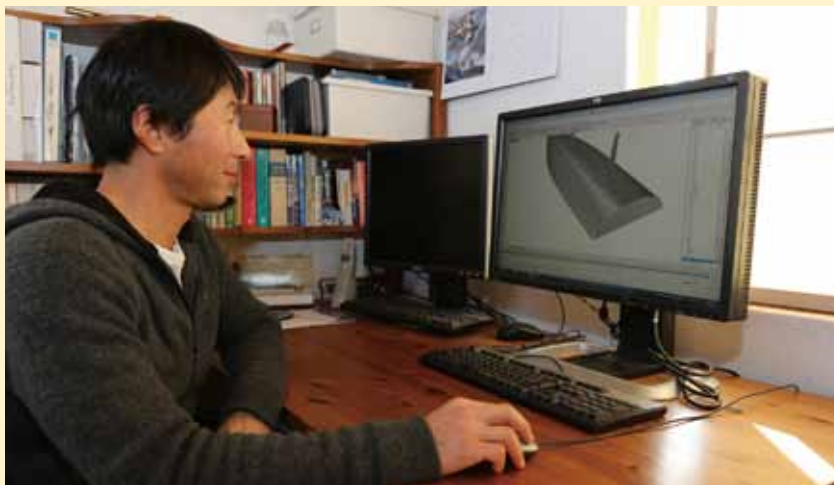


# 日本人デザイナー艇、3艇の建造決定 日本でボートをデザインしていくということ



葉山のACTオフィスにて、HPR36のCAD(\*1)画面を操作する金井亮浩氏。設けられたハルデザインは80隻に上る。それに、300ケースものCFD(\*2)計算を行った

**日本人デザイナーの艇が一気に3艇、ロールアウトする。  
HPR36が2艇、そしてACT-GP33が1艇。そう、金井亮浩氏が手掛ける  
スポーツボートである。日本というマーケットで、  
ヨットデザイナーであり続けるその意義、ニーズについてお話を伺った。**

世界で普及し始めた新たなボックスルール、HPR (High Performance Rule) に準ずるスポーツボート、HPR36の2艇の建造が、プロダクション艇として日本で開始される。デザイナーは金井亮浩氏。日本が誇るデザイナーの一人だ。さらに、2009年に進水したACT GP33の2号艇の建造も決定。一気に3艇である。これってすごいことだ。

「景気ですか？ 良くはないですよ(笑)。でも、デザインしたボートを造れるってことは、デザイナーとして本当にうれしいです」

笑顔で語ってくれた金井氏だが、日本でデザイナーを続けるということは、必ずしも笑顔でばかりはいられない。ボート建造にあたり作成するモールド(ハル型)の費用は、3~5艇建造してやっとペイできるといわれている。

「ACT-GP33は、5艇造らないとモールド代をペイできません。モールド代は僕が負担していますので、負債を抱えているのと同じですね。1号艇はツポイヨットで建造しました。ツポイヨットが店をたたんだあと、モールドは

GHクラフトさんや、ツポイヨットにいらした小松正勝さん(リーガルヨット)に管理をお願いしていました。

HPR36は、海外の造船所を10社以上あたりました。最終的にハンガリーのポージャー(Paugr)社と契約。ラッセル・クーツのRC44を建造した造船所です」

モールド代を造船所が負担する場合もあるが、建造艇数が読みにくいスポーツボートとなると、モールドを負担する造船所はなかなかないという。まさしく、いばらの道であるが、金井氏の表情は暗くはない。では、ACT-GP33、そしてHPR36はどのようなデザインが施されているのだろうか。

「まず第一に、走っていて楽しいボートであること。軽排水量のスポーツボートです。艇の性能を、それぞれのボックスルールのなかでとことん突き詰めた。IRCレーティングで不利であるといわれるスポーツボートですが、その部分をより上回る性能差で埋めていくという考えです。レーティング対策として、たとえば



最初のプランは、まず手書きでイメージを描き、手書きで計算をするという



2009年に進水した、ACT-GP33(スパンク)

セールエリアを小さくすれば、その分ボートスピードは落ちます。レーティングをもらえても性能は下がる。だったら、同じスペックのなかで、ハル形状やアベンテージを突き詰める。3%スピードを上げれば、それは、3%分レーティングをもらったのと同じですから。やはり速いボートってのは楽しいものだから。本当のセーリングの楽しさを知ってもらいたいです」

金井氏は海外でボートデザインを学び、そのまま海外で仕事を探そうという選択肢もあったが、活躍の場を日本に置いた。「僕は日本人だから、日本に帰って、日本でデザインして、日本から発信していきたいなと思ったんですね」と金井氏。

現在の一番の悩みは、いまだに自分が「若手」と呼ばれる現状について。後に続く日本人デザイナーの登場を熱望するという。

前途多難な日本のボートデザイン界であるが、インタビューをする間、金井氏は終始笑顔であった。思えば、金井氏のことを思い出すと、笑顔以外の顔は思い浮かばない。これから、日本人の手によるボートが3艇進水する。われわれも笑顔でその光景を追っていきたい。



金井亮浩  
(かない・あきひろ)

1966年生まれ。スタンフォード大学大学院航空宇宙工学専攻、東京大学大学院工学研究科船舶海洋工学専攻、ともにCFDを研究。1995、2000年のニッポンチャレンジ技術スタッフとして、アメリカスカップに参戦。2000年5月、有限会社ACTを設立。2003年、イギリスGBRチャレンジのスタッフとしてアメリカスカップに挑戦。ヨットの解析、設計を手掛ける。  
<http://www.actechnology.co.jp/index.html>



HPR36のCAD画像。美しく戦闘的なハルデザインである



CFD計算結果の可視化画像

\*1 CAD (Computer-Aided Design または Computer Assisted Drafting) : コンピューターを用いた製図システム。呼称は、キャド

\*2 CFD (Computational Fluid Dynamics) : 流体の運動をコンピューター上で観察する数値解析・シミュレーション手法。数値流体力学。略称は、シーエフディー